

学校教育目標： よく考え行う子 なかよく力を合わせる子 気力にあふれやりぬく子

山ノ内町教育基本方針

- 「未来につなげる文化と人づくり」
- ・個性の尊重と発達に応じた学力向上
 - ・ESDの推進
 - ・開かれた学校づくり

＜めざす学校像＞
夢を語り、笑顔が
あふれる学校

学校への願い (R2 学校評価より)

- ・思いやりの心の育成
- ・自分で考える力の育成
- ・コミュニケーション力の向上

＜めざす子ども像＞

ESD：(E)いいと思うことを(S)進んで(D)できる 子ども

自ら考え判断する力

「なぜ」「わからない」を追究して
いく子ども

友と協力して伝える力

気づきを大事に協力し合い
表現・発信していく子ども

たくましく挑戦する力

試行錯誤を繰り返しながら粘
り強く取り組む子ども

めざす子どもの姿を実現するための本年度の重点

学力の向上

- ◎日々の授業改善
 - ・子どもの視点に立った授業づくり
 - ・子どもが自分ごととして追究する課題設定
 - ・聴き合い、学び合い、伝え合い
 - ・ICTの活用
- ◎「学びの時間」の活用
 - ・基礎基本の定着
- ◎家庭学習の充実
 - ・授業とつながる自学の試み
- ◎全国学力調査、NRT結果の活用

ESD活動の充実

- ◎体験を通して「気づき」「自分にできることを考える」学習活動
 - ・ふるさと山ノ内町の自然・歴史・産業・文化から学ぶ
 - ・人とのつながりから学ぶ
 - ・SDGsの視点を意識して学ぶ
- ◎児童会活動の充実
 - ・交流活動の充実
 - ・縦割り活動の導入
- ◎地域との交流
 - ・東小ABMORI

豊かな心と健やかな体

- ◎人権教育の充実
 - ・自分ごととして考える人権同和教育
 - ・多面的多角的に考える道徳
- ◎認め合い支え合う学級づくり
- ◎あいさつ運動
- ◎運動の習慣づくり
 - ・元気の時間
- ◎自律的な生活づくり
 - ・メディアコントロール
 - ・Withコロナの生活習慣づくり
 - ・清掃時の黙想

研究テーマ：互いに聴き合い伝え合い、子どもが自分のやり方で取り組み始める授業の創造
～「自分ごと」として考え、追究するための手立てのあり方～

【特別支援教育の充実】

- 授業環境のUD化
- 特別支援教育の視点に立った学級経営
- チーム支援と外部機関との連携

東小学校運営委員会(コミュニティスクール)との連携

家庭・PTAとの連携

- ・交通安全指導
- ・生活を見直す取組(健康・家庭学習)
- ・学校環境整備
- ・メディアコントロール
- ・資源回収、PTCAバザー

幼保・2小・中との連携

- ・児童の交流(行事、学習)
- ・職員の交流・連携(研修と情報交換)
- ・幼保小、小中連絡会議・移行支援会議
- ・ICTを用いた日常的な交流

地域との連携

- ・読み聞かせ、学習支援ボランティア
- ・志賀高原での活動(遠足、高原学習等)
- ・りんご栽培、雪白舞栽培等の体験
- ・ABMORIと森林再生学習